



Japan Boxing Commission

Tokyo Dome 1-3-61 Bunkyo-ku, Tokyo, Japan

Tel: 813-3816-5761 Fax: 813-3816-5760

事故検証委員会からの提言に対する JBC の対応

はじめに

事故検証委員会中間報告（9月20日受領）を受け、過去の穴口選手の事故における同委員会「提言」に関する JBC としての対応の問題点をふまえ、管理者としての責務を十分果たせてこれなかったことを猛省し、今後一層真摯に向き合い、事故再発防止策の策定、実施を行っていくこととする。

JBC は今後の事故再発防止策について以下につき実施、また検討している。

1 搬出方法、搬出手順等の見直し

- (1) 救急救命士の指導の下、適切な搬送方法、手順などのレクチャーを受け、搬送のデモンストレーションを行っている。
- (2) 施設管理者と協働して、より迅速な搬送経路、救急体制を構築する。

2 後方支援体制の拡充

後楽園ホール近郊の3次救急病院との引き受け体制、バックアップ体制の構築を鋭意進めている。

3 他の組織との連携

WBC、日本ボクシング連盟などとの情報を共有し、他団体、組織のナレッジを積極的に活用していく。

4 医事講習会、トレーナー講習会の実施

10月12日大阪で開催予定である。今後全国各地で開催する。

5 過度な減量、危険な水抜き禁止策

当日計量の数値（%）により階級変更を義務付ける（1年ほどの猶予期間を設ける）。

過度な水抜きを禁止する。

6 健康管理委員会の抜本的な再編

JBC 健康管理委員会をより安全対策に実効的な組織として再編する。

7 救急救命士の活用

救命士の試合場での配備を検討する。これにより緊急時の対応が適切となる。

8 ルール変更（MRI 検査の活用）

プロテスト時の CT 検査を MRI 検査とする。

A 級選手への MRI 検査を義務付ける。

9 データの収集、活用

奈良県立医科大学臨床研究センターと協働しプロボクシングにおける重大有害事象の予測因子を明らかにし、安全基準策定に資する科学的根拠を提供する目的で臨床研究が開始されている。

以上